

令和3年度

学校利用の手引き

日帰り用



兵庫県立 いえしま自然体験センター

兵庫県姫路市家島町西島（〒672-0100）

TEL:079-327-1508/1509

(施設利用案内は 9:00～16:00 まで、

宿直による対応は 21:00 まで)

FAX:079-327-1461

URL: <http://www.shizen-ieshima.com/>

E-mail: s-ieshima@ieshima-shizen.jp

目次

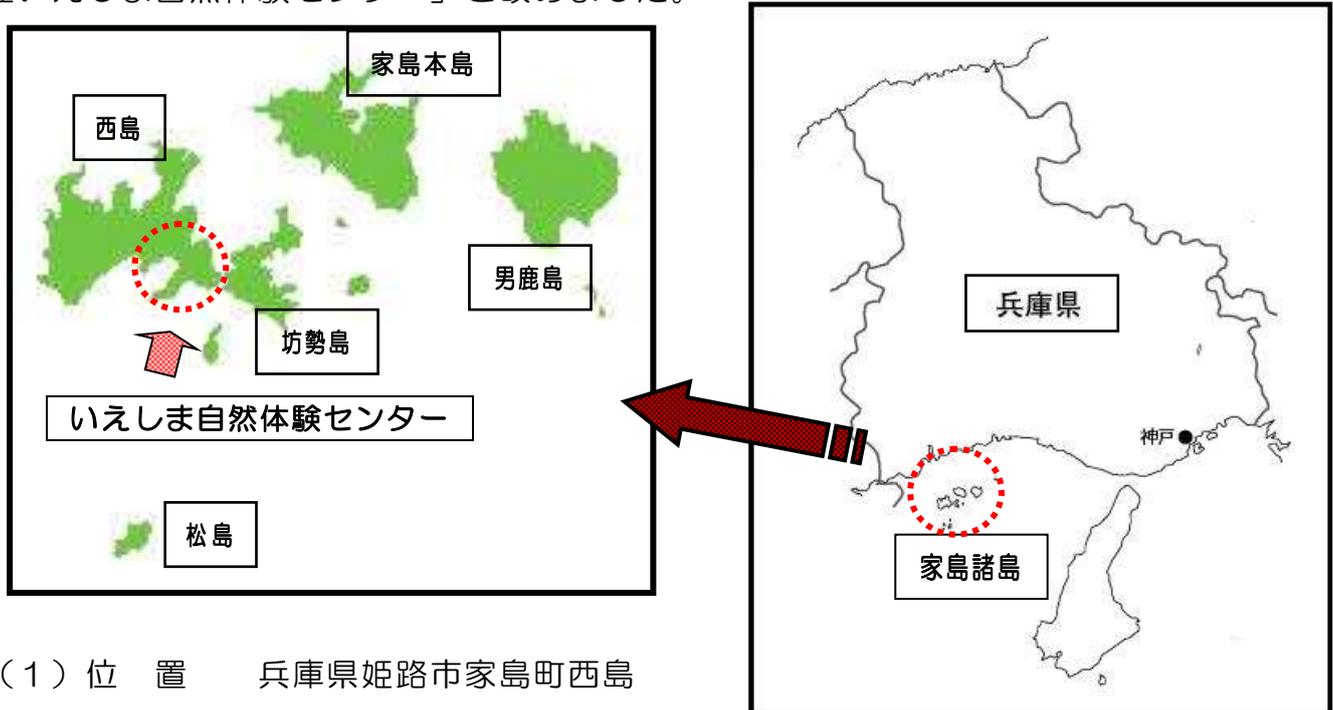
目次	1
A. 施設の概要	2
(1)成り立ち (2)教育目標 (3) 注意事項	
B. センター利用申し込み及び手順について	3
■利用申し込みの手順	
・利用の予約 ・仮受付 ・仮受付票をセンターへ送付	
・下見の予約 ・下見時に必要となる書類をセンターへ郵送	
・下見 ・各種書類の提出 ・入島 ・滞在 ・離島（退所）	
C. シャワーの利用について	8
D. 施設について	9
(1)いえしま自然体験センター全体図	
(2)中央地区平面図	
(3)各ロッジ内の平面図	
E. いえしま自然体験センターへの交通案内	14
(1)姫路港～いえしま自然体験センターへの行き方	
(2)時刻表 (3)運賃について (4)船便のご利用について注意	
(5)姫路港付近の駐車関係略図	
F. 健康・安全について	17
(1)いえしま自然体験センター「けが・病気・事故」発生時の対応マニュアル	
(2)救急医療関連連絡先一覧	
(3)地震・津波発生時の避難マニュアル	

A. 施設の概要

(1) 成り立ち

昭和54年の国連の国際児童年を記念して、南北を海に面する兵庫県の特性を生かし、瀬戸内海国立公園内の家島諸島のここ西島に、自然の中で親と子が心身ともに健やかに育ち、すべての生命の母である海と人が出会う場として、野外活動施設「兵庫県立母と子の島」が建設されました。

開設以来25年を経過した施設のリニューアルを機会に、「環境学習センター」等を新設し、「海の世界学習の拠点」としての機能を強化しました。小・中学生、高校生、大学生の環境学習・自然体験活動のフィールドとして、社会人の実践研修の場として、また幼児期から家族一緒に楽しむ施設として生まれ変わり、平成19年4月に現在の名称である「兵庫県立いえしま自然体験センター」と改めました。



(1) 位置 兵庫県姫路市家島町西島

(2) 敷地	西島（坊勢財産区より）	1,007,027 m ²
	県有地	8,687 m ²
	松島（姫路市・宮財産区より）	332,455 m ²
	計	1,348,169 m ² 【約135ha】

※甲子園球場のグラウンド103個分の広さに相当

(2) 教育目標

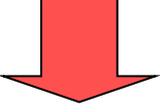
- ① 自然界のさまざまな生き物との関わりを通して、生命を大切にする心を育む
- ② 自然との触れ合いを通して、自然や自然の美しさに感動する素直で柔らかな心を養う
- ③ 仲間との活動などを通して、規範意識や他人を思いやる心、自己抑制力を身につける
- ④ 集団生活やグループ活動を通して、我慢する心（耐性）、自立心、協力する力を養う
- ⑤ 自然環境での活動を通して、健やかな身体と物事を着実にやり抜く意思・主体性を育む

(3) 注意事項

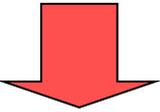
- ① 施設、設備及び備品は大勢の人が利用するものです。大切に扱ってください。
万一、故意若しくは重過失により損傷した場合は損害賠償していただくことがあります。
- ② 利用後は会場(場所)や設備、備品の整理整頓や清掃を丁寧に行ってください。
- ③ 使い終えた備品は必ず元の場所に戻してください。

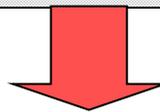
B. センターの利用申し込み及び手続きの手順

■【利用申し込みの手順】

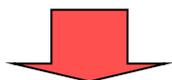
利用の予約 	<p>電話にてご予約ください(079-327-1508 / 1509)</p> <table border="1"><tr><td>小学校(自然学校)</td><td>受付開始は2年前から(年度で)</td></tr><tr><td>中学校・その他の団体</td><td>受付開始は1年前から(年度で)</td></tr><tr><td>日帰り利用</td><td>受付開始は1年前から(年度で)</td></tr></table> <p>□希望する利用予定日(期間)、行事内容、人数等をお知らせ下さい。 ※日帰り利用校と宿泊利用校の活動内容が重なった場合、宿泊利用校の活動を優先します。</p>	小学校(自然学校)	受付開始は2年前から(年度で)	中学校・その他の団体	受付開始は1年前から(年度で)	日帰り利用	受付開始は1年前から(年度で)
小学校(自然学校)	受付開始は2年前から(年度で)						
中学校・その他の団体	受付開始は1年前から(年度で)						
日帰り利用	受付開始は1年前から(年度で)						

仮受付	<p style="text-align: center;">電話受付により仮予約完了となります。</p> <p>□電話受付後、以下の①～③の資料・用紙を「いえしま自然体験センターホームページ」よりダウンロードしてください。</p> <p>①「下見打ち合わせ表」 ②「学校利用の手引き・申請書類関係」 ※下見時にご持参ください。</p>
------------	--

下見の予約 	<p>実施前に当施設の下見を行うことをお勧めします。</p> <p>○下見の予定日と船便の時刻を決めて、ご連絡ください。 ※対応できない日がありますのでご了承ください。</p> <p>○下見は活動計画の確認、プログラム相談、施設や活動場所などの確認を行います。</p>
---	---

下見時に必要となる書類をセンターへ郵送 	<p>下見3日前までに「下見打ち合わせ表」をお送りください。</p> <p>【郵送先】 〒672-0100 兵庫県姫路市家島町西島 いえしま自然体験センター 学校担当者 宛</p> <p style="text-align: center;">FAX (079-327-1461)</p> <p>○下見予定日、予定日の船便等の急な変更が必要な場合、必ず当施設へ連絡してください。 ※船便手配は、当施設から船会社に連絡します。</p>
---	--

下見



姫路港からいえしま自然体験センター行きの定期船にご乗船ください。坊勢島で乗り換えがありますのでご注意ください。
※切符は坊勢までといえしま自然体験センターまでの2枚をご購入ください。

□ 棧橋から中央地区事務所まで山道を20分ほど歩いていただきます。舗装されていますが山道でアップダウンがあります(右写真)。動きやすい服装と靴でお越し下さい。

□ 売店等はありません。昼食が必要な場合はお弁当をご持参ください。

※窓口で飲料は販売しています。(お水・お茶・ジュース類等)

■ 下見のおおまかな流れは以下の通りです。

① センター事務所に到着後、下見の代表者の方は窓口で入島

の手続きをしてください。※入島料はお一人様200円です。

② 担当者と対面、打ち合わせへ

1. 事前に提出されている「下見打ち合わせ表」をもとに日程確認をします。

→2. 日程のあらすじに即した施設・設備案内と体験プログラムの場所を確認します。

→3. 施設・設備を確認後、プログラムの内容の検討・相談を行います。

→4. 今後の手続きに必要な書類(申請書類)等を確認させていただきます。

※HPよりダウンロード可能です。

→5. 質疑応答/解散

※多くの学校様は午前中の便10時頃で姫路港を出発、打ち合わせの後昼食をとられ、フィールドの見学をすませて、13時~14時頃の船便で姫路港に帰られています。

□ 特別に配慮が必要な児童・生徒のご利用がある場合、下見時にご相談ください。



各種書類の提出



■ 1ヶ月前迄に提出する書類(センターへ郵送してください)

① 利用申請書

○ 記入段階でわかる日程・人数等をお書きください

② 利用者名簿

○ 利用者名簿には指導者(教員)、指導補助員、救急員等の方もご記入ください。

○ 学校の児童・生徒の場合、学級名簿をそのまま提出していただいても結構です。

③ 食事申込書

○ 学校利用の場合、当日やむを得ず欠席者が出た場合の食数変更は可能です。

○ 自炊の場合は「間食・夜食・野外炊事等申込書」と合わせてご記入ください。

④ アレルギー(食物等)に関する調査

⑤ 間食・夜食・野外炊事等申込書

⑥ 販売品・有料アクティビティ・無料貸出備品申込書

⑦ 体験活動プログラム(2枚。引率者用のしおりをこれに代えることが可能です。)

○ 通常のプログラムと荒天用のプログラムを必ずお書きください。

⑧ 部屋割り表(ロッジ用・テント用)

○ 「利用申請書」の部屋数と部屋割りの数が合うように記入してください。

⑨ 船便予約表

○ センターを利用する期間すべての入退島者(交替等も含めて)の便をご記入ください。

○ チャーター船利用の場合は、**船会社名、出発港、出発時刻**を明記してください。

■1週間前までに提出する書類

※作成できている場合は1か月前までの書類に同封ください。

⑩カヌー・カヤック活動実施届(FAXでも可)

⑪人員搬送及び資材運搬依頼届(FAXでも可)

○棧橋から中央地区までの行程を、徒歩で困難な方のために車を手配致します。
介助者の有無も含めて必要事項に記入してください。

○団体資材のみ車による運搬を行います。具体的な量等、必要事項を記入してください。

※指導者の方を含め、個人の荷物を団体資材として運搬することは出来ません。

■入島当日(第1日目)に事務所窓口で直接提出

⑫「施設利用人員報告書・諸経費の支払いについて」は入島日にご持参ください。

入島(当日)

入島まで(港まで)

【荒天時の判断】

○入島が不可能と判断される場合のタイミングについて

・前日の16時30分(宿泊をとまなう入所の場合のみ)

・当日の6時00分(宿泊をとまなう入所の場合、日帰り利用の場合)

○状況確認等が必要な場合はお電話ください。

○入島が不可能と判断される判断基準について

・暴風雨/大雨/洪水警報等の警報が姫路市若しくは出発地に発令されている場合

・定期船及びチャーター船が天候等で欠航になった場合

・天候等により海洋体験プログラム(カヌー・カヤック)が不可能と判断される場合
(日帰り利用の場合のみ適用されます)

入島まで(港)

【出港】

○港への到着が事故等で遅れた場合、資材運搬や人員搬送が入島日当日に急に必要になった場合はセンターにご連絡ください。

○チャーター船利用の場合は出発地の港を出る前にセンターにご連絡ください。

【センター(ラゴ)棧橋到着】

○忘れ物確認、人員確認を行い、中央地区まで徒歩移動します。

○団体共通利用の資材がある場合は資材車に積み込んでください。

○団体共通利用の資材・備品の船からの荷下ろしとセンターの車両への積載は、学校で行ってください。

○荷物管理として資材者に引率者1名同乗していただきます。

○近年、先生方の個人用の荷物を学校用の資材として積載される場面をお見受けしますが、個人用荷物の運搬についてはお断りしております。体調不良、妊娠、疾患等で配慮が必要な方の個人用荷物は、職員に事情を説明して許可を得て積載してください。

約20分の歩行が困難な方は、お車で宿泊エリアまでお送りいたします。

○棧橋付近で整列、点呼される場合は、通過する車両の運行にご協力ください。

入島のつづき

【センター中央地区(シンボルゾーン)到着】

- 依頼された資材・備品は野外炊飯棟又はロッジ近くに一か所にかためて置きます。
- 弁当や食料関係については中央地区到着後すみやかにお受け取りください。
- 中央地区(シンボルゾーン)に到着後に入所式を行います。
 - 野外炊飯棟に荷物を置き、芝生広場に集合してください。※荒天時は野外炊飯棟。
 - ※複数の団体が同時に入島される場合には、時間と場所を調整します。

- 入所式は必ず実施してください。
 - 司会進行は各団体側でお願いします。
 - 入所式の流れ、隊形等は各団体で決定してください。
- **入所式のプログラムの中に必ず以下の時間を設定してください。**
 - ①「いえしま自然体験センター所長からのあいさつ(約3分)」
 - ②「担当職員による施設利用に関するオリエンテーション(約5分)」
- マイク・デッキが必要な場合には事前に担当者にお申し出ください。
- 校旗、学級旗等の掲揚を希望される場合は掲揚ポールをご利用ください。国旗、県旗以外の掲揚柱3本がご利用いただけます。

【入所式】について

【入所式の終了後】

- **入所式が終わり、児童・生徒への指示が終わりましたら、事務所窓口にて入所の諸手続きを行います。**
 - 管理棟(本館)事務所の窓口「施設利用人員報告書」、「諸経費の支払いについて」の用紙2枚をご提出ください。

プログラム中

- 海洋体験プログラムを予定する団体は以下の手順をお願いします。
 - 集合前にトイレをきちんと済ませておくように各団体で指導してください。
※集合後にトイレの時間をとることは、時間の確保の点からも望ましいことではありません。ご協力をお願いします。
 - 水筒をしまう前に熱中症の予防のためにきちんと水分をとってください。
 - 持ち物に忘れ物がないことを確認する。
※ 帽子は熱中症予防に必須。
必ず帽子を被るように指導を徹底させて下さい。
帽子は、①陰ができるものが多い方が望ましく、
②海上ではゴムでとめられる方が望ましい。
 - 海洋体験活動(カヌー・カヤック)をされる団体は、艇庫の浜側の石段(右の写真の黄線の部分)に海に向かって整列、点呼を終了させてください。
 - 海洋体験活動(筏づくり)をされる団体は、食堂前広場に食堂側を向いて整列、点呼を終了させてください。
 - テント地区への弁当の配送を希望された団体は、希望された時間に配達致します。



離島

離島までの動き

【退所の手続き】

- 退島1時間前に、会計担当の方は事務所で「請求書」をお受け取りください。

【退所式】

- 退所式の準備ができましたら、管理棟(本館)の事務所へご連絡ください。

【中央地区からセンター(ヲヲゴ)棧橋へ】

- 団体資材の運搬及び体調不良の方の搬送は、指定した車両に積載してください。
 - 個人用の荷物を学校用の資材として積載される場面をお見受けしますが、センターの方針で個人用荷物の積載、運搬については原則としてお断りしております。
- 海岸で遊び、靴が汚れたまま船に乗船して困る、という苦情が寄せられています。「公共のマナー」を各団体でもご指導ください。

【退所式について】

- 司会進行は各学校でお願いします。
 - ※ 「センター所長からのあいさつ(約3分)」の時間を確保してください。
- マイク・デッキ等が必要な場合には事前に担当者にお申し出ください。

C. シャワー設備の利用

①入浴・温水シャワー・常温シャワーの利用

- 大浴場を女性が、中浴場を男性が使用します。
- ※中浴場は浴槽が大きく、大人6～8人程度が入れます。
洗い場は少ないです。→シャワー7
- ※大浴場は浴槽が小さく、大人3～4人程度が入れます。
洗い場は多いです。→シャワー15
- 大浴室(女性用)の着替えロッカーボックスは32あります。
- 中浴室(男性用)の着替えロッカーボックスは24あります。

大浴室(シャワーエリア)



<p>中浴場(男性用)</p>	<p>大浴場(女性用)</p>	<p>販売名 ミヨシMFシャンプー 【使い方】髪をぬらしてから適量を全体になじませ、やさしくもったぬぐってください。【注意】 ●頭皮に傷・湿疹等異常がある時は使わないでください。 ●目・鼻等の粘膜が離れた場合は使用を中止し、流水でよくすすいでください。●目に入った時はすぐに洗い流してください。●カラーやヘアカラーが落ちやすくなる場合もあります。</p> <p>ミヨシ石鹸</p> <p>ミヨシ石鹸株式会社 〒223-0291 東京都三浦市三浦4-14 TEL:0427-3613 4000 〒224-0001 東京都三浦市5000-1 MADE IN JAPAN</p> <p>ミヨシ石鹸 https://miyoshisoap.co.jp/</p>
		<p>シャンプー・リンス</p>

※天候・気温により温水シャワーをご準備いたします。

通常は屋外シャワーをご利用ください。

※シャンプー・リンス・ボディソープが必要な場合は購入するか、各学校でご準備ください。
海洋汚染を防ぐため、合成洗剤の使用を制限しています。

D. 施設について (1)いえしま自然体験センター全体図

②分岐点付近の施設と看板類

①いえしま自然体験センター棧橋



↑バイオトイレ



↑分岐点



↑分岐点にある行き先看板



③中央地区入り口付



創作活動地区

創作活動地区の風景



④海中探険ゾーン



⑤艇庫前から浜を望む



オオヤケ島

小豆島

⑥分岐点より中央地区を眼下に小豆島を望む



⑦芝生広場を望む



⑧野外活動地区の(立舞)浜を望む

(2)中央地区平面図



環境学習センター



ボランティアリーダー棟



Bロッジの外観↑と内部↓



海中探検ゾーン
海中探検ゾーン



野外炊飯場



艇庫



養殖体験ゾーン



シャワー・更衣室



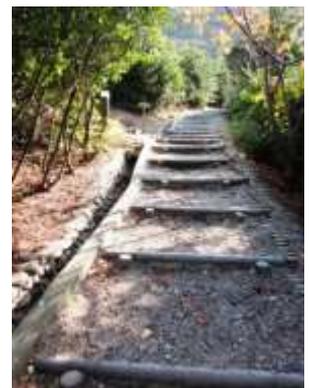
Cロッジ(長屋タイプ)



中央管理棟(中央奥)と食堂(右側)

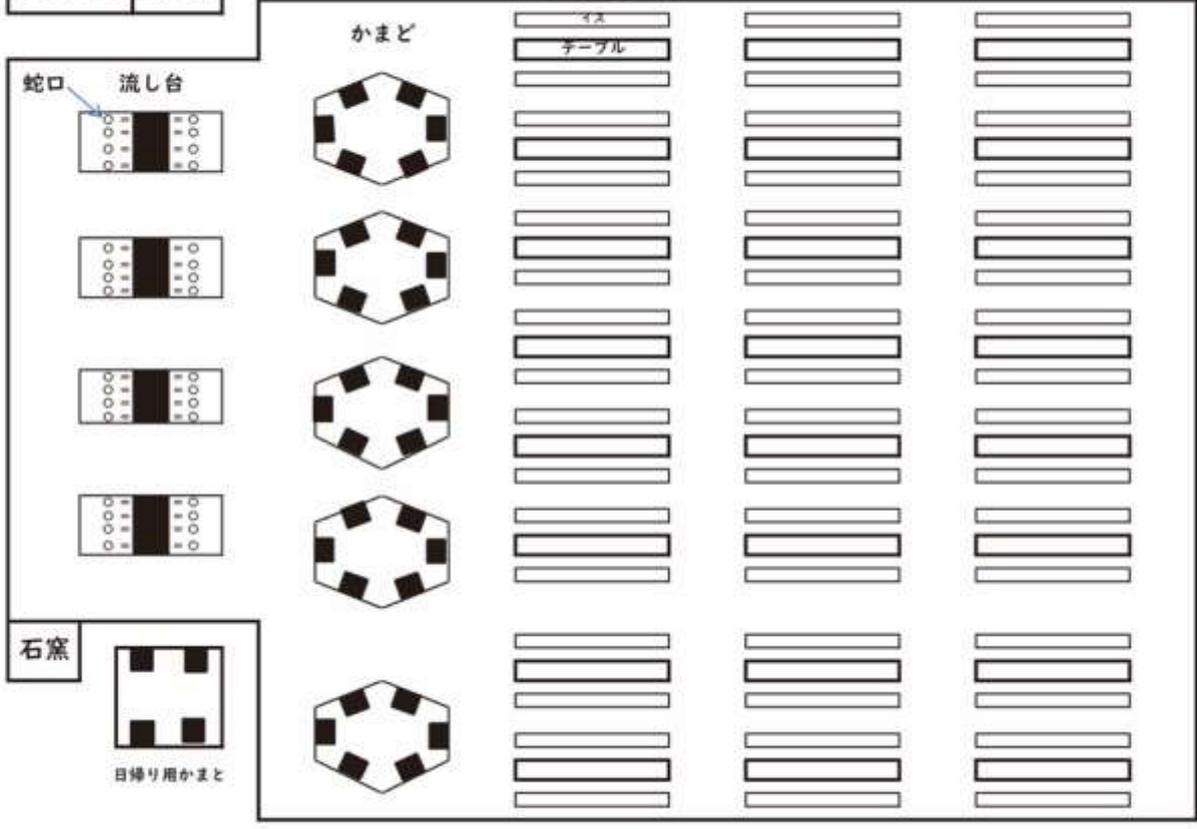


ロッジ内の洗面台(左)とトイレ(右)

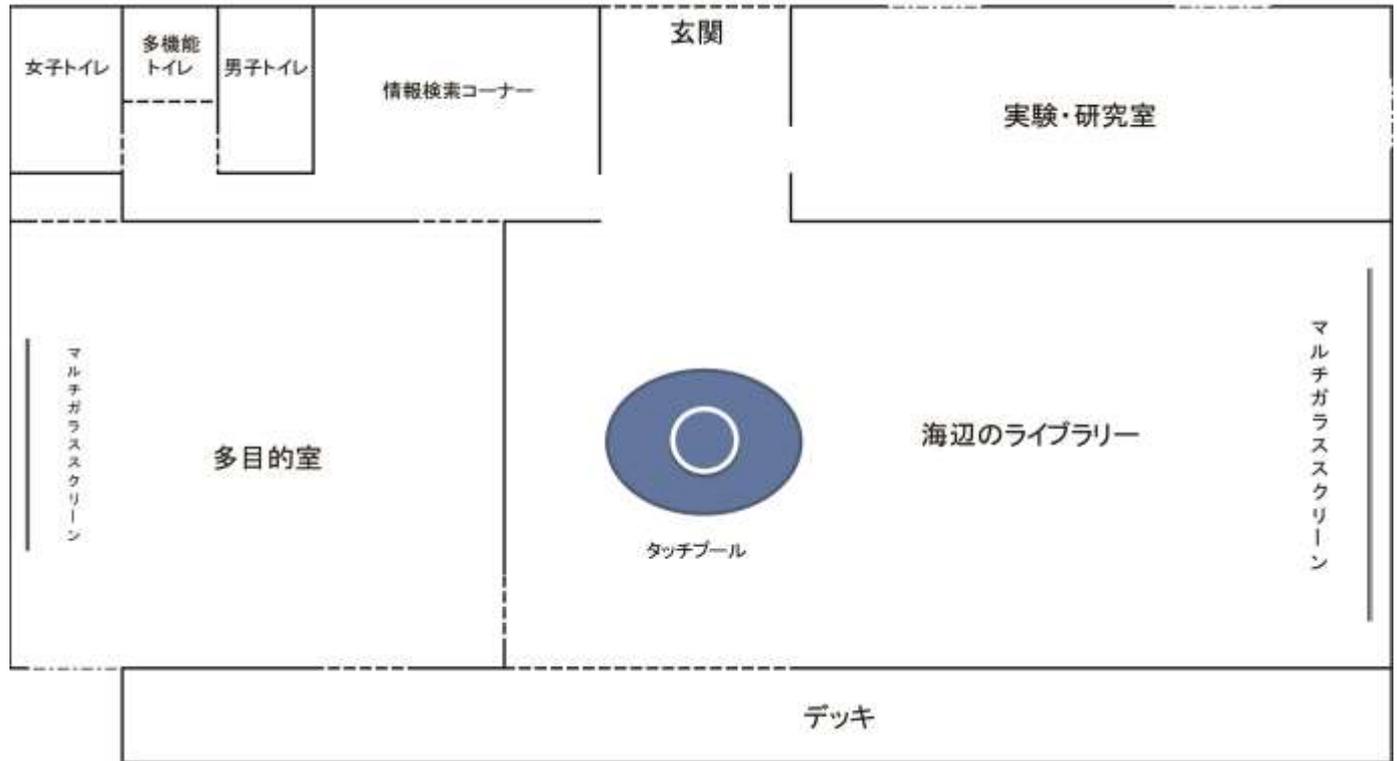


ゴミステーション 道具置き場

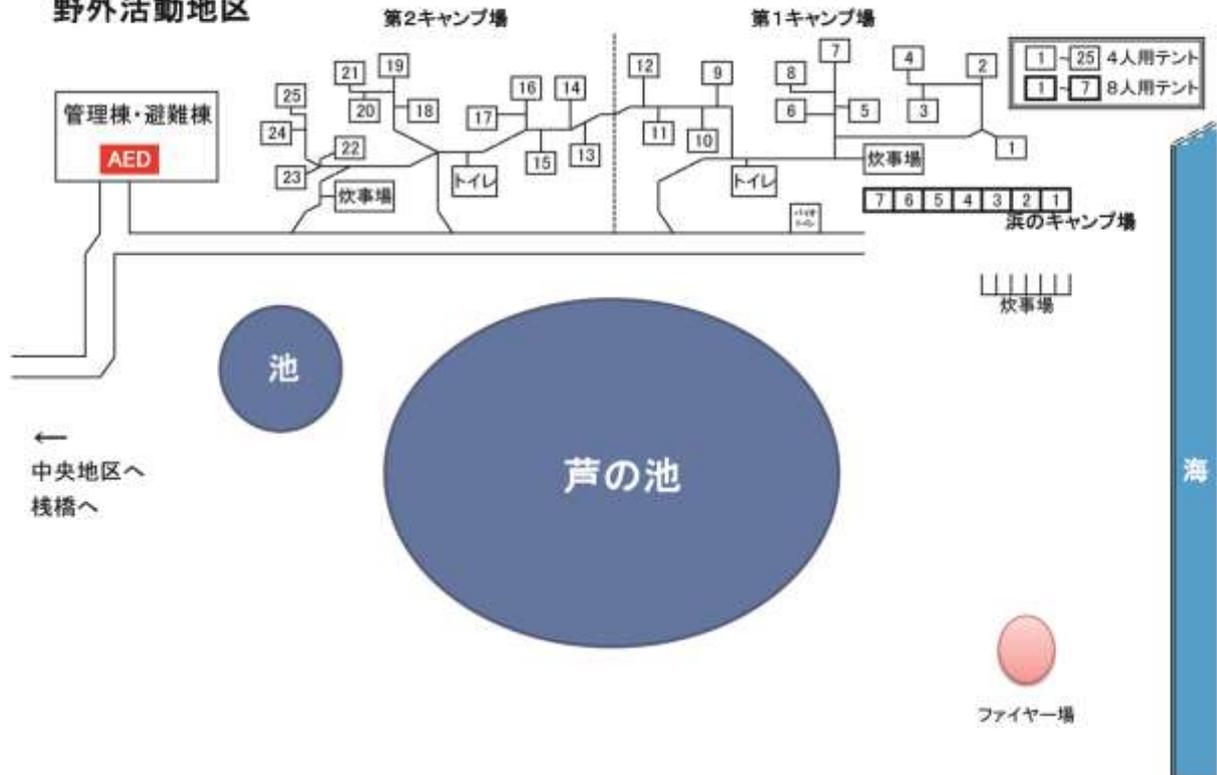
野外炊事場



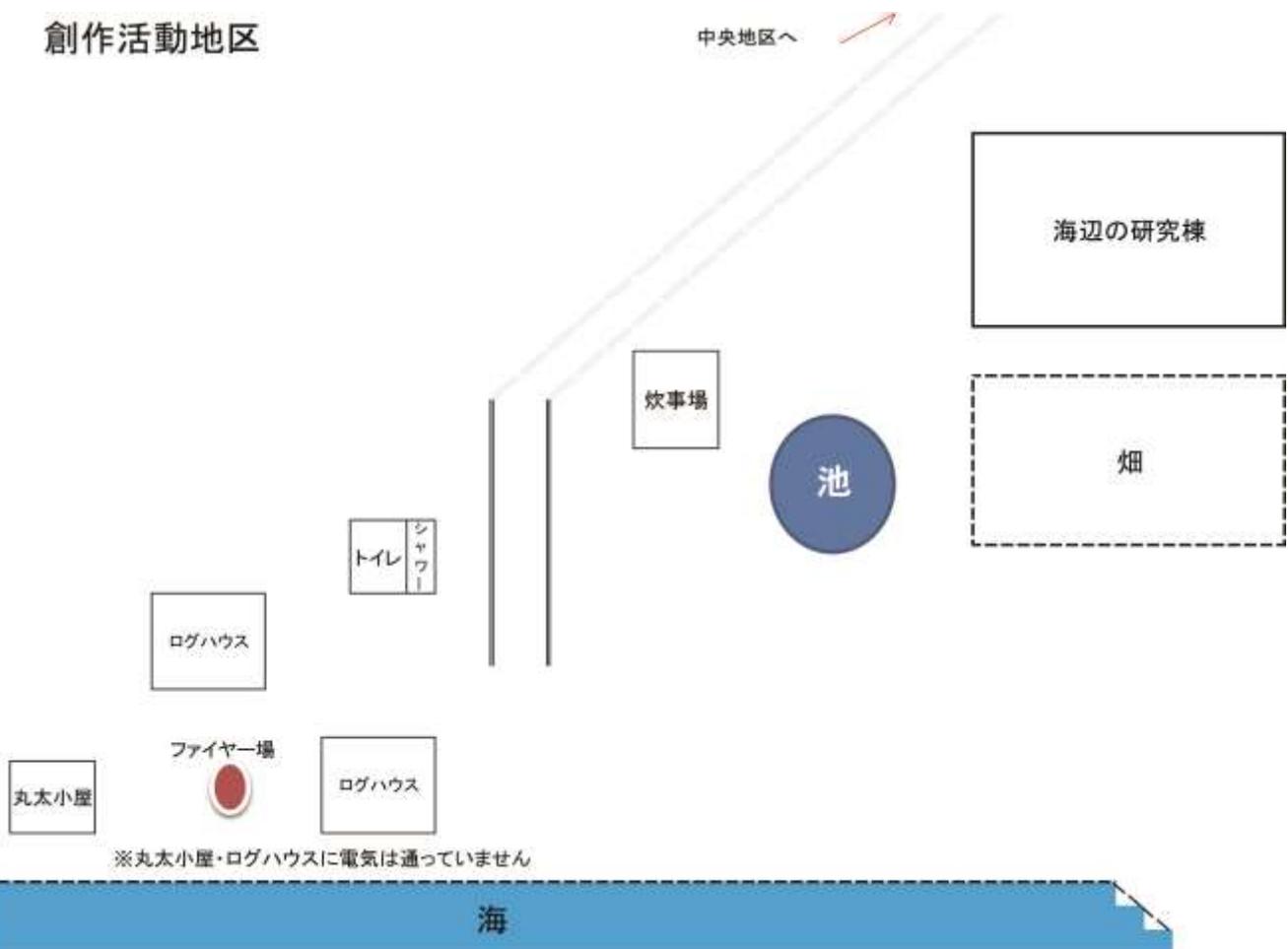
環境学習センター



野外活動地区



創作活動地区



E. いえしま自然体験センターへの交通案内

1 姫路港までの交通機関等

○電車・バス

JR 姫路駅で下車 北口へ出て、神姫バス①番乗り場「姫路港行き」約20分
山陽電車飾磨駅下車徒歩5分、飾磨工業高校前から神姫バス「姫路港行き」約10分
(神姫バス「姫路港行き」は20～30分間隔で運行しています。)

○車

姫路バイパス「中地ランプ」から南へ約10分。姫路港周辺の駐車場(裏面記載)に駐車願います。(車は「いえしま自然体験センター」に渡れません。)

2 姫路港からの交通機関(連絡船)

令和2年4月1日より 連絡船が変更になりました。

「いえしま自然体験センター～坊勢(ぼうぜ)」間の連絡船は、予約時のみの運行となります。事前(遅くとも前日の午前中)に「いえしま自然体験センター」まで乗船時間をご連絡ください。

当施設より船会社に船便の予約をします。乗り遅れた場合等は改めてその旨をご連絡ください。

その他 連絡船に関するお問い合わせは船会社へお問い合わせください。

※ 下記以外の時刻にも姫路～坊勢島間は運行していますが、いえしま自然体験センターまで起こしになる場合は下記の時刻になります。

坊勢島にて乗り換えになります。ご注意ください。

ご不明な点は、船員にお尋ねください。

3 切符について

姫路港→坊勢島間は、『坊勢輝汽船株式会社』・坊勢島→いえしま自然体験センター間は『輝観光』が運行

- ① 姫路港ポートセンタービルの中にある**坊勢輝汽船**の券売機で坊勢島行きの切符を購入。
- ② 隣にある**輝観光**の券売機でいえしま自然体験センター行の切符を購入。

【定期連絡船時刻表】

坊勢輝汽船株式会社 本社 (079-234-1138) 坊勢営業所 (079-326-0160)

※往路(姫路港→いえしま自然体験センター)

※復路(いえしま自然体験センター→姫路港)

便	姫路港発	坊勢着	坊勢発	棧橋着
1	7:30	8:05	8:15	8:20
2	10:05	10:40	10:50	11:00
3	11:35	12:07	12:17	12:27
4	13:05	13:37	13:47	13:57
5	14:30	15:02	15:12	15:17
6	16:05	16:40	16:45	16:50

便	棧橋発	—	坊勢発	姫路着
1	8:30	—	8:55	9:27
2	11:30	—	11:50	12:25
3	13:00	—	13:25	13:57
4	14:20	—	14:44	15:16
5	15:30	—	15:50	16:22
6	16:55	—	17:15	17:50

【船賃】

区分	片道	往復	備考
姫路港⇄坊勢島まで 大人(中学生以上)	1,000円	2,000円	幼児は大人1人に対して1人は無料 大人1人につき1人を超える同伴 未就学児(1歳未満を除く)
小人(小学生)	500円	1,000円	
坊勢島⇄いえしま自然体験センター 大人	500円	1,000円	
小人	250円	500円	

4月1日(水)より手荷物にも運賃必要です 以下有料です

カート等は荷物がなくてもカートBOX等の中身が空でも運賃が必要です

貨物運送用台車 一輪車 四輪カート 持ち込みできません



1,000円

はしご、脚立 二輪カート 自転車 ケーブルBOX(300位〜) ペット 中、大型犬



500円

釣り竿、竿ケース、ケーブルBOX、カッター等単品も
釣り竿とケーブルBOXのセット、釣り竿とカッターなどのセットでも同一料金



300円

300円

- 【ご注意】
- ・自転車は小人用、大人用、電動が分けて、折畳み自転車等全て一律料金です
 - ・釣りの方はセットの持ち込みがなくても、竿、ケース、ケーブルBOX等の物または単品でも料金が掛かります
 - ・ペット（小動物）は布製のバッグなどに入れている場合でも頭や足が出ているものは有料です

以下の手荷物は運賃かかりません

ただしお一人につき合わせて2個までです



- 【ご注意】
- 缶ビール、ジュース等もお一人2ケースまで
2個以上の荷物をひもなどでくくっても1個扱いとはなりません
 - ショッピングバッグ（大）お一人2個まで
これ以上は運賃がかかります
- 荷物置場が限られた小型船です。皆様のご協力でご荷物を少なくするようご協力ください
数量が多すぎると係員が判断した場合は、有料でも積み込みをお断りする場合があります

【お願い】運賃の有無、金額設定については乗船口にて荷物のサイズ、重量を計るのは時間的にも又、その作業にかかる人手も足りませんので係員、船員の判断になりますことをご承知お下さい。

※料金などについては坊勢輝汽船へお問い合わせください。 坊勢輝汽船 TEL (079) 234-1138

※団体・グループでお越しの際には姫路ポートセンター内の坊勢輝汽船の事務所にて団体券の購入ができます。団体料金の割引はございません。(注) 全員が同じ船便に乗船することが必要です。

【チャーター船利用】

人数次第ではチャーター船利用の方がお得で便利です。詳細は下記船会社にお問い合わせください。

坊勢渡船	(079)326-0559	高福ライナー	(079)325-1970
輝観光	(079)325-0444	坊勢輝汽船	(079)234-1138

姫路港以外からも発着可能です。日帰りの学校様に限りセンター中央地区突堤からの発着可能です。

4 船便のご利用についての注意

■手続き

- 船便の日時が決まりましたら、センターへご連絡ください。
- 団体が使う資材の船への持ち込む量は常識の範囲内でお願いします。

■乗船及び下船

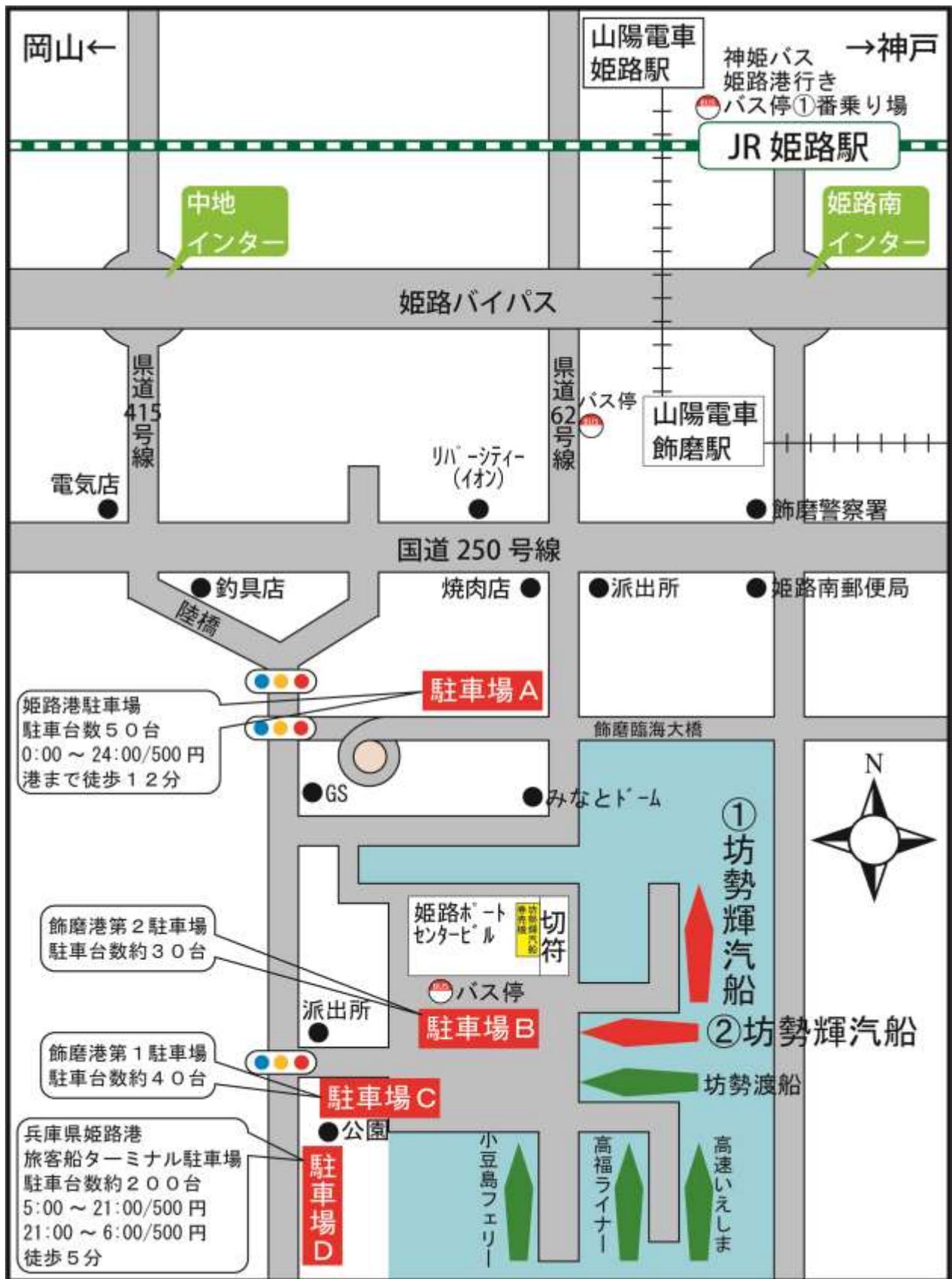
- 乗船時間の20分前までに団体担当者は、利用する船会社の窓口にて受付してください。道路渋滞や事故により出港時間に間に合わないと言われる場合、すみやかに定期船の場合はセンターへ、チャーター船の場合は船会社へ連絡をしてください。船会社と確認した変更の内容をセンターへお知らせください。
- 参加者の乗船、下船の安全について学校側が最大限の注意を払うようにしてください。
- 団体資材の船への積み降ろしは、速やかに終わることができるよう協力してください。

■センター桟橋での待機について

- センター桟橋付近での集合、待機は各団体が責任をもって安全管理を行ってください。
- センター桟橋付近の海岸線で遊び、靴などが汚れたまま船に乗船して困る、という苦情が船会社から寄せられています。「公共のマナー」を各団体でもご指導ください。

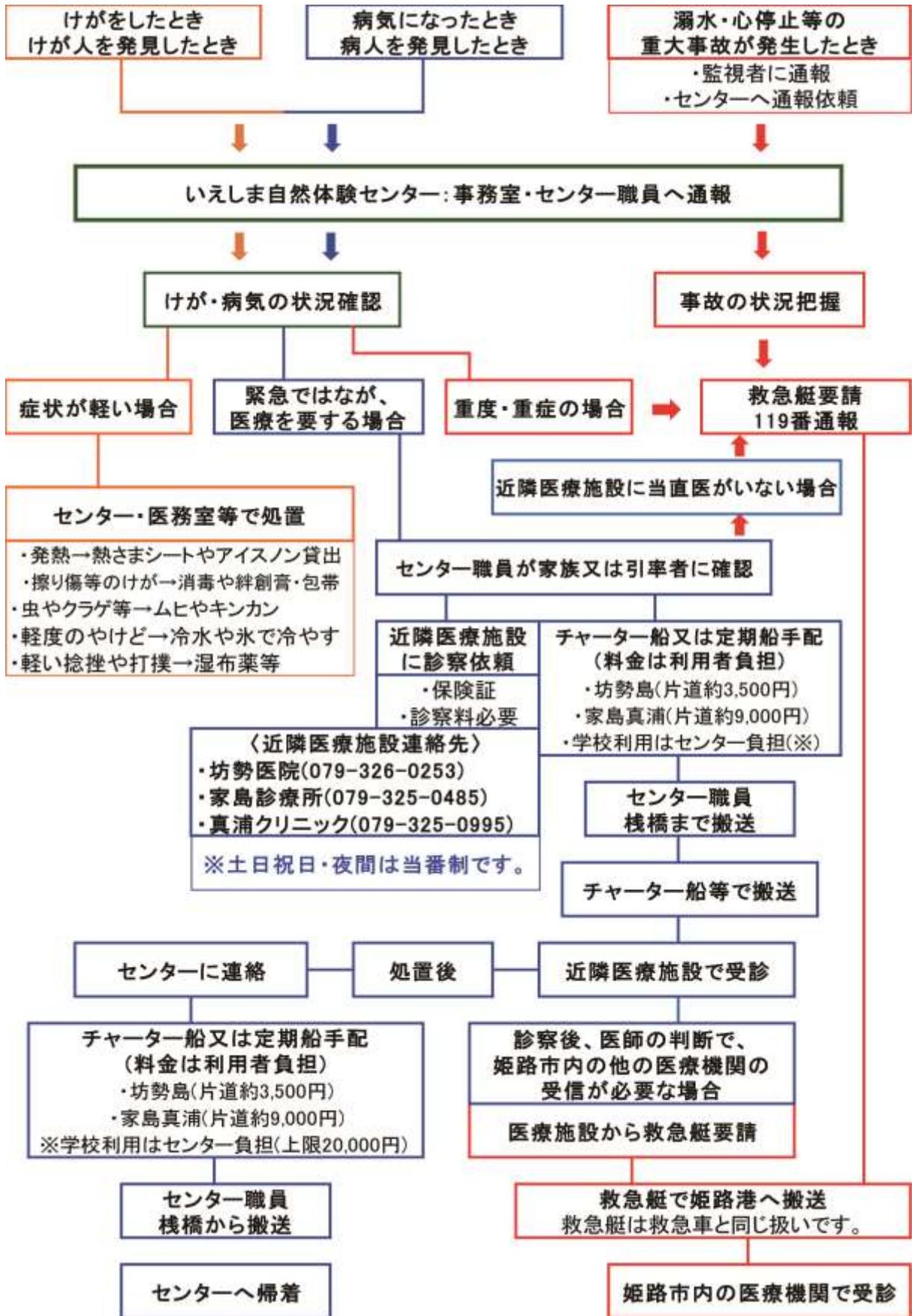
(5) 姫路港付近の駐車関係略図

- 個人用乗用車を姫路港付近で駐車される場合には、地図を参考にして駐車してください。
- 夏季の土日は付近駐車場が満車になることもあります。余裕をもってお越しください。



F. 健康・安全について

(1) いえしま自然体験センター「けが・病気・事故」発生時の対応マニュアル



当センターは「兵庫県南部ドクターヘリ臨時発着場」に指定されています。

(2)救急医療関連 連絡先一覧

会社／機関	名称	住所／診察時間	電話番号
家島町 医療機関 ※宿直医 土日祝の 宿直医は 当番制で 月ごとに 変わります。 ※夜間診療 が出来ない 場合があります。 その場 合は姫路市 医療機関へ 救急艇搬送 となります。	ぼうぜ医院	姫路市家島町坊勢702-238 【診察時間】 9:00～12:00／15:00～17:00 ※受付は終了30分前まで ※木曜・土曜の午後、祝祭日は休診	079-326-0253
	家島診療所	姫路市家島町宮2169 【診察時間】 9:00～12:00／14:00～17:00 姫路市家島町宮2169 ※受付は終了1時間前まで ※土曜・祝祭日は休診	079-325-0485
	真浦クリニック	姫路市家島町真浦字片山2379-1 【診察時間】 月～金曜日 9:00～12:00／14:30～17:30 土曜日 9:30～12:00 ※木曜午後の第2・4週は休診	079-325-0995 受付 7:55～11:45 ／13:55～17:15
姫路市 医療機関	新日鐵広畑病院	姫路市広畑夢前3-1	079-236-1038
	姫路医療センター	姫路市本町68	079-225-3211
	姫路赤十字病院	姫路市下手野1-21-1	079-294-2251
	神野病院	姫路市飾磨区下野田2丁目533-3	079-235-5501
	姫路中央病院	姫路市飾磨区三宅2-36	079-235-7331
救急艇	消防		119
渡船会社 (海上タクシー)	坊勢渡船	姫路市家島町坊勢	079-326-0559

【渡船代】

	坊勢まで(片道)	家島本島まで(片道)	姫路(相生)港まで
いえしま自然体験 センター棧橋から	約¥3,400円	約¥9,000円	約¥20,000円

※上記の金額は、料金目安です。消費税別。詳しくは各船会社にお問い合わせください。

※22時以降は割増料金となります。23時以降は緊急な処置を必要とする場合のみ利用可能。

※救急時の渡船代は学校利用に限り、1回の利用期間中の合計額20,000円を上限として当施設が負担いたします。上限額を超えた場合は学校負担となります。

(3)地震・津波発生時の避難マニュアル

地震・津波から身を守るために

◇揺れを感じたら、**建物の中**や**そばから離れて**、**広い所**へ避難し、**芝生広場**に集合しましょう。

◇地震が発生すると「**いえしま自然体験センター**」全体に**非常放送**をします。

◇津波警報や注意報が発令されたときは、**放送**をよく聞いて

下記の避難場所へ落ち着いて避難してください。

げんざいち 現在地（いまいるところ）	ひなんばしょ 避難場所（にげるところ）	ちまじょうばんごう 地図上番号
ちゅうおうちく ろっじちく 中央地区（ロッジ地区）	ちゅうおうかんりとう しょくどう 中央管理棟の食堂	1
やがいかつどうちく ちく 野外活動地区（テント地区）	ひなんかんりとう 避難管理棟	2
そうさくかつどうちく 創作活動地区	うみべ けんきゅうとう 海辺の研究棟	3



※当センターでは地震・津波等の情報をいち早くキャッチする警報装置システムを導入しており、大きな地震が発生した場合、緊急放送を行います。

*緊急の避難を要する場合

日中：緊急放送にて避難指示を行うとともに、職員が誘導いたします。

夜間：緊急放送を行うと共に担当の先生のロッジに職員が伺い、素早く児童・生徒を起床させ避難誘導を行います。

避難はセンター職員の指示に従い、迅速に人数確認を行うと共に安全確保にご協力ください。